



■外来診療予定【令和8年4月1日～】

	月	火	水	木	金
内科 (毎日午前)	高橋一二三	柴田 裕次	土屋 隼人 (山大医師)	高橋一二三	和根崎真大 (山大医師)
消化器内科 (月曜午後) 【一部予約】	須貝 彩子				
呼吸器外来 (第1水曜午後) 【予約制】			高橋一二三		
肝外来 (第3木曜午後) 【予約制】				柴田 裕次	
内科 (内視鏡)	須貝 彩子 柴田 裕次	牧野 直彦 (山大医師)	須貝 彩子	柴田 裕次	須貝 彩子
外科 (毎日午前)	中村 健 (山大医師)	藤島 丈	阿部 昂平 捧 貴幸 (山大医師)	藤島 丈	木村 真五
整形外科 (月・火・水・金) ※火曜午後は専門外来 (スポーツ:高校生まで) ※2回目以降の受診は 予約制になります	午前 鶴田 大作	鶴田 大作	[第1.3.5] 鶴田 大作 [第2.4] 明石 一輝 (山大医師)	[第1.3.5] 鶴田 大作 [第2.4] 入江 克宗 (山大医師)	[第1.3.5] 鶴田 大作 [第2.4] 入江 克宗 (山大医師)
			午後 鶴田 大作 ※完全予約		
婦人科 (毎週火・木)		渡邊 憲和 (山大医師)		奥井 陽介 (山大医師)	
皮膚科 (毎週木・午後)				新井 陽介 (山大医師)	
救急外来 (通常診療以外の 時間および曜日)	受診前に症状等についてお電話 (☎85-2155) をお願いします。 ※病状により他医療機関の受診をご案内することがあります。				

★スポーツ外来は、高校生までを対象に第1.3.5火曜日の午後に完全予約制とします。
詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

■受付時間

- ▶ 受付機：8：00～11：30 (午後診療日は15：30まで)
- ※消化器、呼吸器、肝外来は12：30～15：30
- ※正面玄関の開錠は、7：30です。
- ▶ 窓 口：8：00～17：00

はじめて受診される方へ

当院は、他の診療所やクリニック同様にかかりつけ医として、紹介状なしで受診いただけます。マイナ保険証や資格確認書等を受付に提示して受診内容をお知らせください。診察券をお作りしますので、次回からは受付機で受付ができます。

されます。20代には一段落し、30代後半頃までほぼその値を維持します。その後、特に女性は40歳くらいから徐々に女性ホルモンが減少し、そこから閉経後70代くらいまでの間に、骨は勝手にどんどん弱くなります。この時期に何が起きているのか？骨形成・骨吸収⇨骨代謝の回転が非常に高速になり、さらに骨形成より骨吸収が上回っている状態になるため、骨はどんどん減って、骨量(骨密度)が低下していくという仕組みです。これがいわゆる閉経後骨粗鬆症のメカニズムです。他にビタミンDの不足や欠乏が関わっていることもあります。次回以降、骨粗鬆症のタイプ判定と必要な検査、治療などについてご紹介します。

(整形外科 鶴田大作)



令和8年度 町立病院からのお知らせ

【問い合わせ】☎0238-85-2155

病院の基本理念「地域住民から信頼される病院」が実現できるよう、職員が一丸となり取り組んでいきます。令和8年度は、従来の診療体制に加えて整形外科の充実を図ります。

■ 医師

管理者兼内科医長	高橋一二三	医療監兼外科医長	藤島 文
院長兼内科医長	柴田 裕次	副院長兼外科医長	木村 真五
整形外科医長	鶴田 大作	内科医師	須貝 彩子

《整形外科に つるただいさく 鶴田大作医師 が着任しました》

整形外科常勤医師として県立新庄病院より赴任しました鶴田大作です。東京出身で大学から山形へ来ました。高校まで卓球、大学ではラグビー、卒業後も野球・ソフトボールとさまざまなスポーツを経験してきました。

当院では、専門の肩関節疾患をはじめとする整形外科一般診療に加え、学生のスポーツ選手等を対象に肩・肘スポーツ外来を開設します。30年近く積み上げた臨床経験を生かし、町民の皆さまの健康でなおかつ“楽しく動ける”生活のお役に立てますよう、リハビリやスタッフと協力して頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



◆ 令和8年度採用職員



中川 奈々
看護師



伊藤 謙典
看護師



海老名幸恵
看護師



宮城 真里
管理栄養士

■ 病院改修工事が続いています

安全で快適な医療環境を維持、継続するために改修工事を令和8年度末まで予定しています。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

Drつるただの 整形ひとくちコラム

骨粗鬆症そじょうについて、皆さまはどのくらいご存じですか？

「骨がスカスカになって、もろくなる病気ですよね？ もちろん知っていますよー」という方も多いことでしょう。ではなぜ、そうなるのでしょうか？ 今回は骨がどのようなにできて、成長、維持され、最終的に弱くなるのか、ご紹介します。

骨は、破骨細胞によって古い骨が壊され（骨吸収）、骨芽細胞によって新しく骨が作られ（骨形成）、作ったり壊したりしながら維持されています。10代まではカルシウムやたん白質（コラーゲン）などの栄養管理、適切な運動、外で日光をあびたりなどで成長、強化